



「注目が集まる生成AIの上手な活用法」

【図1】主な生成AIの一覧

名称	主な用途(得意分野)
ChatGPT (チャットジーピーティー)	文書作成、議事録作成、 提案書作成
Claude (クロード)	長文要約、レポート作成
Microsoft Copilot (マイクロソフトコパイロット)	Officeアプリに搭載され文 書・プレゼン資料支援

この他にも分野別に生成AIは数多くあります。どの生成AIを使ったらよいか迷うところですが、今はどれでもよいので1つの生成AIに絞り、まずは使ってみましょう。

【図2】生成AIを活用するポイント

ポイント	使い方
明確かつ具体的な指示を出す	目的・背景・条件を含めて質問する 例:A4用紙1枚にまとめたい
フィードバックと改善のサイクルを回す	回答に対して追加の指示や修正を出すことで改善する
テンプレートやプロンプトを活用する	よく使う質問やプロンプトを保存・メモして再利用する
質問・リクエストを段階的に分ける	段階ごとに情報を整理しながら質問する
出力形式を指定する	回答の形式を指定する(例:表形式、箇条書き、文書形式など)
正確な情報提供と確認	重要な情報は、専門家や資料で最終確認を行う

【生成AIを使うときの注意点】

生成AIを使うときは、目的をもって使うことがポイント。得たい回答は何かを明確にすることがより精度を高めます。また、回答はすべて鵜呑みにせず、確認をとることも必要です。

●生成AIに注目が集まる理由

人材不足の解消や今いる従業員への業務量軽減への期待を背景に、ChatGPT(チャットジーピーティー)などの生成AIの活用が注目されています。

2023年が生成AI元年であれば、去年は生成AIの存在が広く知れ渡った年でした。3年目の今年は、果たしてビジネスの現場に定着するかが気になるところ。

生成AIは文書作成やお客さまサポートを自動化し、業務効率化を実現できます。また、高速化、かつ膨大なデータをまとめることを得意としています。さらにルーチン業務を自動化し、企業が収益を上げることができる業務に人材を集中させることから期待が高まっています。

●生成AIの効果的な活用法

生成AIを使ってはみたものの、期待通りの結果が得られないという声を聞きます。

原因として曖昧な指示をすると正確な回答を得ることが難しいためです。また期待値のズレが起きやすく、AIは「(例えば文章の創造の)たたき台」として使うのが効果的です。フィードバック不足で精度が低下することもあります。

1回で回答を得ようとせず、具体的な指示や繰り返しの指示を行うことで、満足度を高めることができます。

●生成AIを使いこなすコツは気軽に使うこと

生成AIを使ったことがある方は、プロンプト(指示書)という言葉に耳にしたことがあると思います。

よく生成AIはプロンプトが大事と言われていますが、プロンプトに入力する内容が長かったり、高度であったりすると入力が終わるまで回答を得られないことになります。これだと本末転倒です。

生成AIを上手に利用するためには、まず気軽に使ってみること。何度も指示を変えながら回答を求めることです。この点は人間と違い、生成AIは繰り返し指示をしても腐らず、めげずにあなたの期待に応えようとしてくれます。



事務所日誌

●12月の事務所の活動

- 3日 技能実習生向け法的保護講習の講師
- 7日 オンラインドラッカー学会「マネジメント経営」参加
- 10日 技能実習生向け法的保護講習の講師
- 12日 井原商工会議所 定例労務相談員
- 17日 オンライン早朝読書会「いばら朝喝同好会」参加
- 17日 オンライン読書会「ゆうかつ」に参加

【編集好奇】

▼1月は三男が半分成人の日(10歳)を迎えます。そして、長男は春になると就職で、社会人になります。日々、子どもたちの成長を感じながら過ごしています。皆さんにとって、新しい年もよい一年でありますように(SY)



「人事制度再構築の研修2」

当事務所のお仕事ご紹介

先月に引き続きクライアント企業さまからご依頼をいただき、「人事評価制度再構築研修」の進行役を務めました。その2回目です。

前回もお伝えしたとおり、こちらのクライアント企業には、すでに人事制度がありましたが、人材不足や人件費上昇に対応するため人事評価制度を再構築することになりました。

介護業界は新規参入する求職者を増やさない限り人材の確保は難しいため、こちらの企業では介護未経験であっても、企業内で育成できるよう制度を整備しています。(妹尾 悟)



【仕事で便利なExcelショートカットキー】④

「F12キー(名前を付けて保存)」 Excelファイルを開いている状態で押すと名前を付けて保存ができます!